

2014年理系科学英語夏期海外研修プログラム参加者募集要項

本研修プログラム参加者は、国際交流科目を履修することとなり、シラバスに定められた基準に基づき、修了者には成績評価を伴って単位が付与される。

1. 研修内容等 ※原則として、以下の全てに参加し、課題を提出できることを参加条件とする。

- 1) 現地研修出発前のオリエンテーション数回
第一回目：5月27日(火) 12:15～ B308
第二回目以降については未定
- 2) 直前英語研修
8月中ごろに予定 (1日6時間実施)

5月22日(木)

セントメリーズ大学コーディネーター(現地スタッフ)との個別インタビュー予定

- 3) 最終説明会・危機管理オリエンテーション
- 4) セントメリーズ大学での現地研修

研修期間：2014年8月25日(月)～2014年9月17日(水)

旅行日程：

出発 2014年8月25日(月)

伊丹空港発成田経由サンフランシスコ空港着

帰国 2014年9月17日(水)

サンフランシスコ空港発成田経由伊丹空港着(18日)

- 5) 帰国後プレゼンテーション
2014年9月19日(金)
- 6) 研修報告書類等作成
詳細は6. 研修報告に記載

2. 参加費用

- | | |
|-----------------------------|-----------|
| 1) 渡航費(航空券、ビザ費用、海外旅行傷害保険代等) | 約230,000円 |
| 2) 現地費用(授業料・ホームステイ代) | 約420,000円 |

合計：約650,000円

(理学部生は一人当たり約200,000円、他学部生は約100,000円の支援を受けられる予定です。※下記参照)

※授業料などは参加人数やレートによって変動する

※現地での昼食代、週末の娯楽費及びバスツアー代は別途必要となる

※渡航費は見込みであり、燃油サーチャージ等の変動により変更となる可能性あり

※奨学金について：

本プログラムは、平成26年度日本学生支援機構海外留学支援制度の奨学金に採択され、受給対象者には10万円が支給される予定です。ただし、参加者のうち8割（最大12名）に限ります。

上記の奨学金受給対象外の参加者については、大阪大学未来基金グローバル化推進事業「海外研修プログラム助成金」により、一人当たり最大10万円の助成を受けられる可能性があります。

また、理学部生は理学研究科から「教育の国際化推進支援」が行われる予定です。

3. 募集人数

15名程度（参加人数が10名を切った場合開催できない可能性があります。）

4. 応募資格

本学の学部にて在籍する理系の正規生

5. 応募方法及び応募締切

参加申込書を理学部 留学生・国際交流担当（A113）に提出すること

締切日：2014年5月7日（水）

6. 研修報告

現地研修終了後、以下の書類を期日までに提出すること。なお、提出書類の種類や内容、提出時期等は変更されることがあります。

① 英語レポート A4 用紙 1 枚程度（指定様式あり）

② 航空チケットの半券

③ パスポートのコピー

※パスポートの氏名・写真等記載ページ

※渡航・帰国日の日本の入国管理局出入国印が押されたページ

※①～③の提出期限は、2014年10月2日（木）を予定

※※奨学金または助成金受給における必要書類については提出書類及び提出期限を対象者に通知します。

7. その他留意事項

1) 学部学生は、平成26年度2学期全学共通教育科目の履修選択希望登録期間（平成26年9月3日～9月16日13:00）が本研修プログラム期間と重なるため、履修希望者は研修先のパソコン端末等から忘れずに登録を行うこと。履修登録方法については、各自応募前に本学の「履修の手引き」冊子もしくは全学教育推進機構ホー

ムページ・教務窓口で確認しておくこと。

- 2) 未成年者については、応募前に必ず保護者の同意を得ること。
- 3) 研修参加者は、理学研究科が指定する海外留学保険に必ず加入すること。
※クレジットカード付帯の海外旅行傷害保険等、他の保険に加入している場合であっても、加入を必須とする。
- 4) 研修参加者の個人情報、研修参加のために必要なものの他、緊急事態等における必要に応じ、本学関係部署、研修先大学、現地大使館・領事館、旅行代理店、保険会社等に提供される場合があることを予め了承すること。

シラバス

理系科学英語夏期海外研修

履修対象

理学部 1～4 年生（他学部学生も認めることがある）

開講時期

平成 26 年 8 月～9 月（4 週間）

目的

本科目の受講生はアメリカの Saint Mary's College of California で開講される 4 週間の理系科学英語研修に参加する。研修では、プレゼンテーション力および英語による真のコミュニケーション力の向上に注力し、研究者やエンジニアに必要なグローバルな素養を身に着けることを目的とする。各受講生に対し、Saint Mary's 大学に学ぶ同世代の学生がメンター／パートナー（Science Buddy）となり、学習や生活のサポートを行う。また、現地での滞在先は一般家庭でのホームステイとする。このように、常にネイティブの英語に囲まれることで、コミュニケーション力を向上させる。

履修条件・受講条件

40～50 万円程度の自己負担が必要。

講義内容

事前学修

○渡航前セミナー・オリエンテーション 2014 年 5 月～8 月

渡航前に大阪大学において海外生活や英語で授業を受けるために最低限必要な予備知識、健康や安全管理、異文化コミュニケーション等について学ぶ。

[9 時間（1.5 時間×6 回）]

○プレ英語レッスン 2014 年 8 月

ネイティブの講師により海外生活に必要な実践的英語レッスンを実施する。

[6 時間]

海外研修

○Saint. Mary's College of California での英語研修 2014 年 8 月～9 月（4 週間）

語学および学部レベルの科学の講義

フィールドトリップ（博物館見物など）

地元高校生との交流

プレゼンテーションの講義

参加者全員が科学のトピックスについて英語でプレゼンテーションを行う。

[英語研修：78時間（19日×4時間）、自主学習：38時間（19日×2時間）]

事後学修

○帰国後報告会 帰国後1週間以内

ファイナルプレゼンテーションの内容を再度英語で発表

研修の成果を英語で報告（研修レポートの提出を含む）

[3時間]

その他

○TOEIC または TOEFL の受験（推奨）

海外研修参加前と参加後の英語力の差を自己確認するため、TOEIC または TOEFL の受験を各自で行うことを推奨する。

学修時間計 132 時間

授業計画

講義内容を参照

成績評価

セントメリーズ大学にて講義およびファイナルプレゼンテーションを修了した学生の評価を達成度に応じて現地の教員が行う。帰国後に、理学研究科の国際交流委員が審査員となり、帰国報告会を実施し、発表内容について評価する。そして、渡航前に設定した目標の達成度を数値化する。

派遣先での成績 40%、報告会の成績 60%を併せて最終成績とする。最終成績が 60%に満たなかった学生については、修了単位を付与しない。